

第六十回熊本県図画工作・美術教育研究大会 天草大会の開催に向けて

図工・美術部門 会長 小堀 公己

来年度に平成二十九年度
図工・美術の県大会を天草
で開催します。

図工・美術の県大会は他
教科と違い、幼稚園・小学
校・中学校の合同で開催し
なければなりません。そこ
で、昨年六月に準備委員会
を立ち上げ月に一回、これ
まで八回の話し合いを行っ
てきました。準備委員とし
て幼稚園二名、小学校十一
名、中学校九名の計二十二
名で現在準備を進めている
活動」と決定しました。

研究テーマは、「つなぐ、
つながる造形教育」サブテ
ーマを「わくわく、いきい
き 伝え合い高め合う造形
活動」と決定しました。

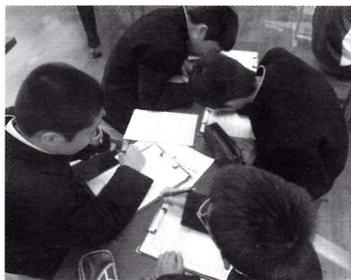
平成二十九年度第五十七回熊本県音楽教育研究大会 天草大会の開催へ向けて

音楽部門 会長 赤星 誠司

音楽部門では来年度予定
されている熊本県音楽教育
研究大会・天草大会開催に
向けて鋭意準備を進めてい
るところです。平成十九年
度以来十年ぶりの天草大会
となりますが、熊本県の音
楽教育のレベル向上に資す
るよう努力していきたいと
思います。研究テーマは数
度にわたる協議と児童生徒
の実態調査、指導者に対す
るアンケート等の実施と考
察を経て「感じる心 伝え

あうよろこび 響き合う音
楽」と設定し、研究に入り
ました。一月十六日(月)に
亀川小学校と新和中学校で
開催した郡市音楽授業研究
大会では、本テーマに沿っ
た検証授業を行い、大きな
成果を得たところです。ま
た、同日午後には九州ルー
テル学院大学教授、山内隆
雄先生を講師としてお迎え
し、日本の伝統音楽につい
て講義をしていただきました
。和楽器の実技講習も含
まれています。

熊本県下でも、天草の描
画のレベルはトップクラス
です。それは文化展を核と
した伝統がしっかりと培われ
ているからだと思っています
。そういう天草のよさを
発信する県大会にしたいと
思っています。



部門の活動報告

県大会・天草大会に向けて！

「へき地・小規模校教育は教育の原点」 を合い言葉に

へき地・小規模校部門 会長 福田 岩雄

学校規模適正化に伴い学
校の統廃合が進み、少人数
学級や複式学級が減少する
中、「へき地・小規模校教
育部門」では今年度も「へ
き地・小規模校教育は教育
の原点」を合い言葉に十二
月一日、牛深東中学校を会
場として「平成二十八年度
天草郡市へき地・小規模校
合同研修会」を開催しまし
た。

研修会では、まず、吉田
直子教諭と西村隆夫教頭の
協賛も取り入れられました。
また、全体会では、授業
研究と合わせて、グループ
協議も取り入れられました。

協賛も取り入れられました。
また、全体会では、授業
研究と合わせて、グループ
協議も取り入れられました。

第五十五回熊本県学校保健研究協議大会 天草大会の開催に向けて

養護部門 会長 田中 新作

養護部門は、天草学校保
健会の保健主事部会と養護
教諭部会の専門委員会と連
携を図りながら、現代的な
健康課題に対応できるよう
活動を行っています。養
護部門としての研修会や研
究協議会は実施しています
が、養護部門の県大会は開
催しませんので、学校保健
会主催の県大会に養護部門
として協力することにしま
した。

大会は、平成二十九年八
月十八日(金)に、天草市民
センターを主会場として、
十二年ぶりに天草で開催さ
れます。近年、子どもを取
り巻く社会環境や生活様式
の急激な変化により、多様
な健康問題が生じていま
す。このような中、生涯を
通じて心豊かに生きていく
ための健康教育の推進は重
要度を増しています。この
ようなことから、研究主題
を『生涯を通じて、心豊か
にたくましく生きる力を育
ります』と設定し、研究に
入りました。

む健康教育の推進 く心身
の健康づくりに主体的に取
り組む子どもの育成」と
して、特別講演と六つの分
科会による研究協議を行
います。大会成功に向けて、
現在準備を進めているとこ
ろです。

